



茉莉花
(まつりか)

花言葉…家族愛、家庭的、素朴など

インド、東南アジア地方原産。夜に開花。翌日の昼頃までは見ることができるらしい。白く、香り豊かな花。花弁は小さい。「ジャスミン」と呼ばれる植物の一種。花から、香料の原料となるジャスミン油がとれる。また、花は、いわゆる”ジャスミンティー”の香りつけに使われる。インドのベンガル語では「Mali(マリ)」と呼ぶらしく、そこから「茉莉」の漢字があてられたのかもしれない。インドネシア、フィリピンの国花。

花のお便り

2018.1 No.139

E-mail : info@miyazaki-p.co.jp
http : //www.miyazaki-p.co.jp/

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山5-33-2
TEL. 03-5384-1331・FAX. 03-3305-2528

花のおたよりも今号で138号となり、初回発行から11年半となった。一番驚いているのは本人だ。文を書くなどそれまではやったことがなかった。最初は何を書いたらいいかと迷ってばかり。ところが、号を重ねると「読でるよ」「面白いね」などと、本心とは思えない励ましの言葉に気を良くし、ここまで来てしまった。時には過激な文章もあり、さぞかし読者の皆さんには多大なご迷惑をかけたことだろう。これからはヒヤヒヤ、くすくすも交え書いていくので、見捨てる事なく末永く読んでもらいたい。



明けましておめでとございます。

2018年(平成30年)の幕が開きました。旧年中は皆さまに大変お世話になり、誠にありがとうございました。今年一年も、より一層のご愛顧のほどよろしく願いいたします。

それにしても、年が改まるとは神聖で神妙になるものです。日常は神仏にうやうやしくするのは、観光で神社仏閣にいった時くらいです。それが正月となると、大混雑の中もいとわず初詣には出かける。ところで世界では、日本人ほど神や仏と縁がない人種はいないのではとされている。そんな中だからこそ「靖国神社」に参拝する政治家は、余程「信心深いと見え」奇妙だ。まあ裏の目的があつてのことだろうが。さて、元号を使用している国は世界広しといえど、現在では日本だけらしい。今年が平成が終わろうとしているが、西暦に一本化する意見すらないと言うのも寂しい限りです。誰ですか、印刷会社はその度に仕事が増えるなどと言うのは。すでにお得意様は平成の文字の削除が進んでいます。国会で元号廃止の法案を提案する政党はいないのでしょうか。

気まぐれエッセイ かにかに横丁は女性が元気



からびよん ▶

北日本を中心に3日間雪が降り続いた翌日、いつもの仲間と日本海までカニとすっぽんを食べに出かけた。天気は快晴、どこまでも晴れ渡り、最高の日和だ。高い山はすっかり雪化粧でキラキラしている。飯山に近づくころから、高速の脇には雪が積り、雪国♪♪~などと口ずさみながらのドライブとなる。すっかり除雪された道を、周囲一面真っ白な世界を走るの気持ちが高揚する。北陸道の途中で一般道へ。かにかに横丁の看板が見える。小さなカニ屋が10軒ほど軒をならべる。近づく「そこのお兄さん」と声が掛かる。剥かれたカニの

足が差し出され、一軒一軒食べて歩く。若い娘さんもいるが、どちらかと言えば、昭和の娘さんが圧倒的だ。各店とも積極的にアタックしてくる。冷やかしながら食べていくと、それだけで食べた気分となり、後ろめたさはあったが、何も買わずに、二階の食堂へ。剥きカニがたくさん入った海鮮丼は、以外にもイマイチだった。夜は「スッポン」だったが、担当者の失態で売り切れとなってしまい、来年に持ち越しとなった。翌日は松本市山形村の蕎麦街道で、美味しい蕎麦を食べたのがせめてもの救いだった。